

国内クレジット認証委員会御中

## 審査結果概要書

平成 22 年 9 月 8 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	地中熱源対応高効率ヒートポンプ導入による省エネルギー事業
排出削減事業者名	加森観光株式会社
排出削減共同実施事業者名	北海道電力株式会社
事業実施場所	加森観光株式会社 (北海道虻田郡留寿都村字泉川 13 番地)
事業の概要	本事業では、宿泊施設の給湯及び冷房の一部を A 重油ボイラーから高効率のヒートポンプに更新することにより、エネルギー消費量及び二酸化炭素排出量の削減を目指すものである。
排出削減量の計画	2010-2012 年度 : 933tCO <sub>2</sub> /年 (事業実施期間合計 2,799 tCO <sub>2</sub> )
国内クレジット 認証期間	開始日 2010 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 002-A ヒートポンプの導入による熱源機器の更新 (熱回収型ヒートポンプ)

### 2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

### 3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所： 加森観光株式会社 (北海道虻田郡留寿都村字泉川 13 番地)
追加性を有すること	1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO <sub>2</sub> 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。 2) 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、ボイラ管理日報、メンテナンス記録等の確認、現地において事業者への質問等により確認した。 3) 排出削減事業の投資回収年数は 4.4 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。 4) 当該事業者は CO <sub>2</sub> 排出量が多く、環境配慮の意識やエネルギー節約の面から積極的な CO <sub>2</sub> 排出削減活動を考えている。例えば、インバーター取付及び 10 万本の植樹等の活動を行っている。この国内クレジット制度の活用により、環境への取り組みに対するアピール効果と省エネ効果が期待できることが事業実施の一因となっている。
自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。
排出削減方法論に基づいて実施されること	1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 002-A に基づき排出削減量を計算しており、また方法論の適用条件を満たしていることを確認している。 適用条件 1: 既存ボイラーよりも高効率の熱回収型ヒートポンプに更新することを仕様書等にて確認している。 適用条件 2: 導入される熱回収型ヒートポンプは冷水及

	<p>び給湯用温水を製造していることを現地視察及びヒアリングによって確認している。</p> <p>適用条件 3：熱回収型ヒートポンプの更新がなくとも、既存の設備が継続的に利用可能であることをボイラー管理日報、現地視察及びヒアリングによって確認している。</p> <p>適用条件 4：熱回収型ヒートポンプで生産された冷温水は全量当該施設で利用され他社への供給はないことを、竣工図、現地視察及びヒアリングによって確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
--	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

#### 4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上